

誰もが、誰かの
きっかけに。

SOUHATSU 創発



卒業生

SOUHATSU “創発”トークセッション
TALK SESSION

スポンサー企業 経営者 対談

株式会社ハブ
代表取締役社長 太田 剛さん
安藤パラケミー株式会社
代表取締役社長 佐久間 導人さん

p.02>>

p.14 大樟会だより

SOUHATSU
p.16 news & topics



硬式野球部

祝ドラフト
指名!

経済学部4年
津田 淳哉さん

陸上競技部

新体制で
スタート!

人間科学部2年
新 博貴さん



p.04>>

スポ
ー
ツ
論

創発的◆躍動するクラブ活動



今回も白熱しました!

ZEMI-1 グランプリ 2023
p.06>>

SOUHATSU 的 教授紹介

データを活用し
根拠のある政策を!

経済学部 小巻 泰之 教授

p.08>>



大経大の

最新!
最古!?

p.10>>

築62年! 白馬ヒュッテ

RECOMMENDED
BOOKS

●本学教員著作・監修書籍紹介
●第25回ビブリオバトル 開催

p.12>>

スポンサー企業
経営者対談

大阪経済大学の体育会クラブとスポンサー契約を結んだ、安藤パラケミー株式会社の佐久間導人さんと株式会社ハブの太田剛さん。その経緯や学生に期待すること、学生時代の過ごし方などを伺いました。

“選手一人ひとりが、HUBのロゴが入ったユニフォームに対して誇りを持っていると感じました。(太田)

—スポンサー契約に至るまでの経緯を教えてください。

佐久間 卒業生の中でも企業経営に関わる方たちで組織されている「大樟春秋会」の集まりに参加したときに、会の部長を務めている方から「バスケットボール部のスポンサーをやってみないか」というお話をいただいたんです。ちょうど安藤パラケミーで新卒採用に力を入れていると画策しているときに、ユニフォームに当社の名前が入れば、大経大の学生はもちろん、対戦相手やその関係者の目にも留まるため、宣伝効果を期待して快諾しました。太田さんはどういった経緯だったんですか？

太田 現在の陸上競技部の監督とOB会長が、私の陸上競技部時代の先輩にあたり、たまに試合観戦に行くなど交流を重ねていたんです。あるときにOB会長から「ユニフォームにHUBのロゴを入れてほしい」と相談をされて。HUBはコロナ禍でかなりダメージを受け、特に学生の認知度が著しく低下していたこともあって、「まずはHUBが何の店かを知ってもらおう」という考えから承諾しま



した。実際の成果はいかがですか？

佐久間 想像以上に世間からの注目を浴びて、正直驚いています(笑)。関西学生バスケットボール連盟で初めてのスポンサー契約ということで、いろんなメディアが取り上げてくれましたね。

太田 こちらも同じようなことがあって、とてもありがたかったですね。それに大学のクラブにスポンサーがつくというのは、学生たちにとって相当のステータスになるという話を聞きました。注目度が上がることで、学生たちのモチベーションも上がってくれたら嬉しいですね。

—バスケットボール部・陸上競技部、それぞれの学生に期待することはありますか？

佐久間 2023年から2年契約を結んだのですが、秋の関西学生バスケットボールリーグでは1部リーグ残留を決定づけるなど、奮闘する姿を見せていただきました。今後は関西ナンバーワンの座の獲得、ひいてはインカレへの出場も期待しています。

太田 先日ある大会の応援に駆けつけたのですが、選手一人ひとりの姿勢から、HUBのロゴが入ったユニフォームに対して誇りを持っていることがひしひしと感じられました。

佐久間 スポンサー冥利に尽きますよね。

太田 本当にそう思いましたね。陸上競技部は近年かなり実力をつけてきており、全日本駅伝や出雲駅伝、100回記念の箱根駅伝の予選会などでも存在感を発揮しています。これからも競技に真摯に取り組んでもらいたいですし、そのうえで結果が残していたら最高ですね。

佐久間 学生みなさんが活躍することで、我々の企業名が認知されるのなら、これほど嬉しいことはありませんよね。

—お二人はどのような学生生活を過ごしていましたか？

太田 私は本当にクラブ活動中心の生活で、ずっとグラウンドで走っていましたね。社会人になってから「もっと真面目に勉強しておけばよかった」と思うことが多いです(笑)。

佐久間 でも、競技に打ち込んでいたからこそ得られたものも多いのでは？

太田 自己管理能力は大変高まりましたね。大学は基本的に自由な環境なので、手を抜こうと思えばいくらでも抜くことができます。そんな中で、陸上選手を4年間やり切ることができたのは自信につながりました。また、陸上競技中心の学生生活だったとはいえ単位もしっかり取得できたことで、「やるべきことを責任を持ってやる」という姿勢も身についたと感じます。

佐久間 社会人にとって重要なスキルですよ。私は学生時代、よく釣りに出掛けていました。幼少のころから釣りが趣味で、将来はバスプロになろうと思ってたんです(笑)。

太田 いいですね(笑)。私も釣りが好きで、今でもよく出掛けていますよ。集中したりボーっとしたりしているうちに思考が整理されるのか、事業アイデアが浮かぶことも多いです。

佐久間 わかります！考え事をするのにとてもいい時間なんですよ。

太田 今度ぜひ一緒に行きましょう(笑)。釣りの他にも大学時代

Profile

株式会社ハブ
太田 剛さん（代表取締役社長）

1961年兵庫県生まれ。1983年経営学部卒業。中学時代から陸上の長距離選手として活躍し、大学在籍時も陸上競技部に所属。当時、神戸にオープンしたばかりの英国風パブ「HUB」の創業者でありダイエーの創業者でもある中内切さんのビジョンに興味を持ち、同社に入社。

株式会社ハブ
<https://www.pub-hub.co.jp>

安藤パラケミー株式会社
佐久間 導人さん（代表取締役社長）

1972年大阪府生まれ。1996年経営学部卒業。在学中は政治学を学びながら、複数のアルバイトを通じて社会経験を積む。卒業後は水産系企業を経て、化学品専門商社である安藤パラケミーに入社。現在は同社の社長として活躍する傍ら、休日は趣味の釣りを楽しんでいる。

安藤パラケミー株式会社
<https://www.anp.co.jp>

“学生みなさんの活躍によって企業名が認知されるのなら、これほど嬉しいことはありません。(佐久間)

のエピソードはありますか？

佐久間 政治学のゼミを履修していたんですが、社会に出たときに、政治と経済・経営は密接に関わっているということに気づかされました。学生時代に学んでいたというバックグラウンドは、今も様々な場面で生きていますね。また、当時はいろんなアルバイトをしていたのですが、大学では得ることができない社会経験を多く積むことができたと感じています。

太田 学外と接点を持つことは大切です。たとえば「大樟春秋会」でも、会員である社長の方々と学生をつなぐ試みを続けています。学生時代から社会で活躍されている方と接するというのは、見識を広げるとも良い経験になると思っています。

佐久間 私も「大樟春秋会」に入ったことからバスケットボール部との接点が生まれ、こうして太田さんに対談する機会をいただくことができました。ハブと安藤パラケミーはまったく業種が異なりますが、社会では異業種同士のコラボレーションも増えているので、いつかお仕事でも一緒にできたら嬉しいです。



硬式野球部

祝
指名！
ドラフト

【監督】
高代 延博さん
【投手】
津田 淳哉さん
経済学部4年

TOPIC・1



監督に話しかけやすい雰囲気があったからこそ、
監督に話を相談できました(津田)

【左】津田 淳哉さん……奈良県出身。高田商業高校を経て本学へ。2023年プロ野球ドラフト会議で阪神タイガース6位指名を受ける。

【右】高代 延博さん……社会人野球からドラフト1位で日本ハムファイターズに入団。現役引退後はコーチとして活躍。2021年から外部コーチとして本学へ。2023年から監督就任。

一 お二人が大経大の硬式野球部に来られた背景を教えてください。

津田 野球を始めたのは小学4年生からで、中学・高校はあまり活躍できない時期が続きました。だけど野球を諦めたくなくて、高校の監督のすすめで大経大を選びました。

高代 選手を経てコーチとしてプロ野球界に長年いたのですが、2019年からアマチュア野球の指導を始めました。最初はある高校から誘いを受けたのですが、その監督が大経大の卒業生だったことからこちらで指導することになりました。津田君が2年生のときですね。

津田 1年生の頃はコロナで大学や部活に行けない時期が続いたので、自分なりに自主トレに励んでいました。すると2年生ぐらいから球速が150キロ台に上がったんです。この頃からプロを意識するようになりました。

一 野球を通じた人材育成やご自身の成長について教えてください。

高代 野球人の前にまず社会人としての成長だと考え、挨拶を徹底させました。私自身は、部員全員の名前を覚えて気を配り、話しやすい環境を作ることを心がけていましたね。

津田 選手からすると監督は気軽に話しかけられない存在なのですが、高代監督は違いました。

高代 津田君は4年生になってから急な成長を遂げましたが、それまでは伸び悩んでいました。「何で僕、打たれるんですか」と質問してきたこともありましたね。

津田 当時は自分のことしか考えておらず「スピードを出したらスカウトの目に留まる」という邪念がありました。「バッターを観察して配球に緩急をつける」という監督の言葉の意味を理解できるようになったのが、自分としての成長だと思います。

一 目配り・気配りが大事なそうですね。

高代 目配り気配りができるかは、指導者や選手だけでなく社会人としても大事なことです。PL学園で清原・桑田を育てた中村監督が「球道即人道」、つまり「野球の道は、すなわち人の道そのもの」だと言っていますが、僕もその想いで指導しています。

津田 今まではストライクが入らなくなると「どうしよう!」と自分しか見えなくなることがありました。でもそこで「みんなが守ってくれてる」と仲間と視野を広げると、力みが消えるようになりました。これからも周りをよく見て気を配り、アドバイスを素直に聞ける人間でありたいと思います。



▲指名を受けた後の記者会見では取材陣に囲まれた。

スポーツ論

創発的 Sports Theory 躍動するクラブ活動 Dynamic Club Activities

全国レベルでの活躍
野球部と陸上競技
飛躍のポイントを語

が目覚ましい、硬式
部。指導者と学生に
っていただきました。

一 お二人が大経大の陸上競技部に来られた背景を教えてください。

新 陸上競技を本格的に始めたのは高校生からなのですが、「大学でも陸上競技を続けたい。せっかくなら全国を狙えるチームで」と考えて大経大の陸上競技部へ入部を決めました。

木村 新君が入部した年に僕もコーチに就任しました。本陸上競技部のOBだった縁でコーチをさせてもらっていますが、僕の時代より真面目な子が多いですね(笑)

一 「良いチーム」とは、どんなチームでしょうか?

木村 目標に対してみんなが同じ熱量で取り組めているかどうか、一番大事だと思っています。

新 その通りだと思います。陸上競技部には、一般入試で入学した人もいれば、スポーツ推薦で来た人もいます。それぞれの成績や実力には差がありますが、「チームをもっと強くしたい」という意識は、今多くのメンバーが共有できているんじゃないかなと感じています。

木村 特に新君の学年はその意識が強いね。それでいて、個々のライバル意識もある。印象的だったのは面と向かって「次のレースは負けへんからな」と言っている姿でした。ところで、陸上選手にちなんだ心理学用語で「バニスター効果」というのがあるんだけど、知ってる?

新 いいえ、どんな効果ですか。

木村 20世紀半ば、陸上界では「1マイル走で4分切り

は不可能」と言われていて、30年以上世界記録が更新されなかった。でも1954年にロジャー・バニスターという選手が3分59秒の世界新を出すと、そこからたった46日後には別の選手があっさり記録を更新し、その後1年で23人もの選手が3分台で走ったんだ。限界が単なる思い込みで、心理的な壁が破られることで「あいつができるなら、俺も」と他の人が続く現象からこの名前が付いたんだけど、そういうポジティブな相乗効果が、チームの中でも起きてほしいと思います。

新 そうですね。僕自身、目標の記録を達成することで、周りに良い影響を与えられたらと思っています。

一 コーチが新主将に期待することは何でしょうか。

木村 新君にはチームのエースで満足せず、他校のエースや実業団の選手など、外の世界にも目を向けながらより高いレベルを目指す過程で、チームに良い影響を与えて欲しいと思っています。

新 ありがとうございます。2023年の出雲駅伝では脱水症状で棄権してしまい、これまで味わったことがないほどの悔しさを感じました。でもそのおかげで足りないものが見えてきましたし、OBやスポンサー、大学の方々など応援してくださる方がたくさんいることにも改めて気づかされました。今後主将として、走りで引っ張っていったらと思います。

自身の目標を達成することで、
周りに良い影響を与えられたら(新)



新体制で
スタート!

【主 将】 人間科学部2年
新 博貴さん

【コーチ】 木村 哲也さん

【左】新博貴さん……兵庫県出身。1年次から駅伝に出場し、2023年の出雲駅伝では1区の走者を務める。
【右】木村哲也さん……経営情報学部を2011年に卒業。実業団で選手として日本選手権、ニューイヤースタートに出場し、2022年に本学ヘッドコーチに就任。

今回も
白熱しました!

ZEMI-1グランプリ2023

予選出場:52チーム
本選出場:12チーム
本選は2023年11月11日に実施



2位

新しいてまえどりの
リーダーズ [二本杉剛ゼミ]

手前取り大作戦!
～食品ロス削減の誘い～



1位

ブルブルワーク
[鈴木隆芳ゼミ]

研究テーマ

グレーバー

『ブルシット・ジョブ』研究



研究テーマ

再配達
の削減
～宅配ドライバーを救え!～

萩の宅急便「萩原誠ゼミ」

3位



優勝チームの研究は、 世界的ベストセラー 『ブルシット・ジョブ』

長年続く「ZEMI-1グランプリ」は、学生たちのゼミ活動の成果発表の場です。今回栄冠に輝いたチームは、経済学部鈴木隆芳ゼミの「ブルブルワーク」。世界的名著「ブルシット・ジョブ」(ダニエル・ピサノ)という面白い仕事の理論を参考に、意味のない仕事の実態を調査しました。300名以上の社会人にアンケートを実施したところ、既存カテゴリには収まらない新たなブルシット・ジョブがあることを発見。今後の研究発展への期待が持てるプレゼンテーションでした。この他にも、フードロスや再配達問題といった社会問題への取り組み、野球選手の研究、ICTサービスの提案などバラエティに富んだプレゼンが行われました。

Voice 優勝チームリーダーの声



ブルブルワーク (鈴木隆芳ゼミ)
橋本 結花さん 経済学部 3年

「ブルシット・ジョブ」とは、不必要で見せかけの仕事という意味です。参考文献中で示されているブルシット・ジョブが本当に実在しているのか、という疑問に答えるため実態調査を行いました。もともと仲の良いメンバーでグループになったため、役割分担などは自然にでき、良いチームワークが発揮できたと思います。優勝という形で私たちの活動が評価され嬉しかったです。さらに優勝チームとして、社会人数百名が集まる「産業セミナー」でプレゼンの機会をいただきました。労働現場の問題を扱うにあたり「学生ごときに何が分かる」という趣旨の批判があることを危惧していましたが、真摯な講評と励みになるアドバイスを頂き感謝しています。



Comment

審査員のコメント



野村 友和先生
情報社会学部 准教授

どのプレゼンも主張を伝えようとする工夫や情熱を感じましたが、一方で分析結果と結論が整合的ではない印象も受けました。研究というのは、必ずしも思ったような結果が出るとは限りません。結論ありきで議論をするのではなく、自分たちの分析で何が分かって何が分からなかったのかを明確にできるとさらに良いですね。いずれにせよ、このような機会にベストを尽くすという経験は重要だと思います。

実行委員のコメント



吉岡 尚哉さん
経営学部 3年

ZEMI-1は、裏方である運営も学生が主体です。当日の誘導や進行はもちろん、それまでも多くの準備作業が必要のため、担当職員の方と何度も話し合いました。運営メンバーみんなの予定が合わずスケジュール管理に苦戦しましたが、無事ZEMI-1を開催できてホッとしました。まだ改善の余地があるので来年も実行委員に携わりたいと思います。

決勝出場チーム(発表順)

- 1 仮想 is not virtual (二本杉剛ゼミ)
- 2 新しいてまえどりのリーダーズ (二本杉剛ゼミ)
- 3 フードロス削減隊 (外山明ゼミ)
- 4 萩の宅急便 (萩原誠ゼミ)
- 5 TAM (芳賀麻美ゼミ)
- 6 きゅーしゅきゅーはい (中村健二ゼミ)
- 7 配達 on time (二本杉剛ゼミ)
- 8 ブルブルワーク (鈴木隆芳ゼミ)
- 9 サンダーファイブ (米川雅士ゼミ)
- 10 ほ〜むら'n (下山朗ゼミ)
- 11 スピードワゴン (中村健二ゼミ)
- 12 はなちゃんパギー (米川雅士ゼミ)

研究テーマ

- ▶「募金促進 ～心を動かす仮想現実の可能性～」
- ▶「手前取り大作戦! ～食品ロス削減の誘い～」
- ▶「もったいないをなくそう!! ～給食利用でダブル削減を～」
- ▶「再配達削減 ～トラックドライバーを救え～」
- ▶「どんな人が昆虫を食べたがるのか? ～個人の革新性と食品リスク感受性が昆虫食意向に与える効果の検討～」
- ▶「日光を用いたICTサービス『ぎやざらいと』」
- ▶「4.2億個の再配達を減らすには ～配達を1回で受け取る意識改革～」
- ▶「グレーバー『ブルシット・ジョブ』研究」
- ▶「安全な社会のために ～QGISから見る事故頻発場所と対策～」
- ▶「野球IQが選手成績に与える影響の検証 ～テキストマイニングおよびプロ野球関係者のヒアリング調査から～」
- ▶「実行力のある災害対策支援サービス『AirosMiss』」
- ▶「メディアリテラシー教育が普及していないのは、なぜなんでしょう? ～ゲームで学ぶメディアリテラシー～」

「へえ」と言いたくなるトリビアから最新研究まで、教授の専門分野について聞いてみました！
今回は経済学部 小巻教授による「政策立案におけるデータ活用の重要性」です。

Topics

1 EBPM ってなん ですか？

EBPM(Evidence-Based Policy Makingの略。証拠に基づく政策立案)とは、為政者の経験や勘に頼るのではなく、**政策目的を明確化したうえで合理的根拠(エビデンス)に基づいて政策立案していこう**、という考え方です。欧米ではだいぶ前から推進されており、日本でも取り組み始めてはいるのですが、十分に機能しているとは言えません。たとえば、新型コロナの影響で始まった「全国旅行支援」。これは国家予算が3兆円割かれているのですが、自治体によっては予算を十分に消化できていません。そもそも3兆円という金額が妥当かという検証もされていないのです。これに限らず、国や自治体のあらゆる政策一つひとつに対して、政策策定段階から評価方法を事前に検討した上で**データを収集し、分析・検証する体制づくりが日本の課題**だと思います。財源は限られていますから、無駄なことを少しでも減らし、効果のあることをしていきたいですね。



EBPM: Evidence-Based Policy Making

データを 活用して 根拠のある政策を！

経済学部
小巻 泰之教授



Topics

3 政治を変えるのは難しそう ですが……？

私が今取り組んでいるのは、各地域のデータを集めて政策評価できる仕組みづくりです。2年間でおよそ150の市町村を巡り、ヒアリングや調査を行いました。例えば、各地域の「子育て支援」を比較すると実は結果としては大きな差がないという事実が見えてきたりします。各地域で役所の方とお話すると、危機感を持っている人ほど、本取り組みへの関心が高いことがよく分かりますね。自分達が行っている政策をきちんと評価をしていくべきだという意識をお持ちです。「**前任者がやっていたことを変えることができない**」とか「**首長の経験と勘で政策が決められていく**」とか、**そんな体制を変えるためにも、データという根拠を有効に活用して欲しい**と思います。

Topics

4 研究における 「創発」とは？

ゼミでは、地域の経済社会環境を分析して政策立案を行うグループワークをしています。面白いことに、グループの中に一人でも**好奇心の強い学生がいて、その行動力が影響してグッと良いチームになっていきます**ね。「創発」が生まれるには、まず誰かが突出することが大切なのかもしれません。研究においても、私自身が何か突出できるように心がけています。

Topics

2 日本の未来は 明るいですか？

2008年に内閣府が発行した「経済財政白書」には今後の日本経済の見通しが書かれていました。「高齢化・人口減少により労働力が減り、日本の経済成長はゼロに近いものとなるであろう」という予測は、あくまでも最悪のシナリオとして言及されていましたが、それから15年経った現在、予言通りになってしまっています。つまりこの間に有効な手立

てが打てなかった。オリンピックや万博、インバウンド等の経済効果も謳われていますが、おそらくその効果は限定的でしょう。パンデミックや自然災害など、未来に何が起きるのかは分かりません。ですが、**確実に分かっている日本の未来は「人口減少」**です。この影響を考えて、政策なり、制度なりを設計していかなければ、残念ながら厳しい未来しか予想できません。だからこそ、EBPMという考え方を国だけでなく各地方にも浸透させていきたいですね。

Profile

経済学部
小巻 泰之教授

1962年生まれ。関西学院大学卒。筑波大学大学院修了。大蔵省財政金融研究所、日本大学などを経て、2018年より現職。著書に『マクロ経済学をつかむ』(共著、06年、有斐閣)、『世界金融危機と欧米主要中央銀行』(共著、12年、晃洋書房)、『経済データと政策決定』(15年、日本経済新聞出版社、第56回エコノミスト賞)などがある。趣味はドライブ。





図書館 ラーニング・コモンズ

大経大の最新!&最古!?



ゆったりとしたソファでじっくり読書に浸ることができる「探究の森」



各所に観葉植物が配置されているのもポイント



授業やゼミ活動で使うことも可能です

図書館がリニューアルオープン! 「創発」を生み出す“森”と“泉”をイメージ

2023年9月、図書館1階がリニューアルしました。この改修は、本学の100周年ビジョンである「DAIKEI 2032」の一環です。西側のスペースのラーニング・コモンズは「**創発の泉**」と名付けられた「学び」のスペース。学生が刺激し合い、互いの可能性を湧き起こすような工夫が施されています。特に大きなスクリーンを備えたスペースでは、セミナーやワークショップなど、多目的な利用が可能です。更に教育・学習支援センター(SCTL)のカウンターがあり、学習支援を行っています。東側の閲覧室は「**探究の森**」と名付けられ、落ち着いた雰囲気となっています。本に囲まれて集中したい時にピッタリ。図書館司書厳選の本が定期的に入れ替わるので、いつ訪れても発見があるはずです。

大学ホームページでも詳しく紹介しています。 →



NAGANO

大阪経済大学
白馬ヒュッテ



大経大ヒュッテ管理人の
降旗義道さんに伺いました

降旗さんは日本人初の国際山岳ガイドで、山のスペシャリスト。生まれ育った白馬村を拠点に、長年に渡り日本の山岳ガイド組織づくりに携わってこられました。現在は、日本山岳ガイド協会副会長を務める傍ら、本学ヒュッテの管理もしてくださっています。ヒュッテ建設当時中学生だった降旗さんはこう語りました。
「山岳ガイドの祖父が営む旅館に、大経大生の皆さんが寝泊まりして、毎日資材を運んでいらしかったことはよく覚えています。山道は今みたいに舗装されていなかったもので、相当大変だったんじゃないかな。でもこのヒュッテは設計がしっかりしているから、白馬の冬の厳しさにも長年耐えられるほど頑丈です。今でも十分使えますよ」



1階は食堂兼広間と台所、2階は個室と寝室となっています

学生たちが資材を荷上げ! 白馬連峰を望む、知る人ぞ知る山小屋

北アルプスの北部、白馬連峰を西に望む杓池高原に「大阪経済大学 白馬ヒュッテ」があるをご存知でしょうか。この山小屋が完成したのは昭和36年(1961年)11月。当時の山岳部・山岳部OBを中心に建設が進められました。特筆すべきは、**建設費を節約するために当時の山岳部員たちが35トン余の資材を自分達の肩で荷揚げした**という点です。昭和36年7月から8月までの間に27名の山岳部員が、砂利やセメント、木材などを徒歩で運び、建設費のおよそ3分の1を節約しました。築62年と**現存する大学関連施設としては最古**ですが、電気・水道も完備されており、現在も山岳部OBの方々に利用されています。趣ある外観から**テレビドラマのロケ地**となったことも。目の前に広がる白馬三山(鍵ヶ岳、杓子岳、白馬岳)の雄大な姿は絶景です。



築62年! 白馬ヒュッテ



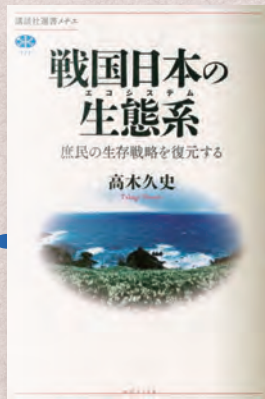
左: 大きな木材を背負い山道を登る当時の山岳部員たち。
中央: 落成式(昭和36年11月3日)
右: 完成間近の山小屋

RECOMMENDED BOOKS

本学教員の執筆や監修による書籍をご紹介します！

Book list

本学
教員著作
・監修



戦国時代の主役は
大名でも武将でもない！

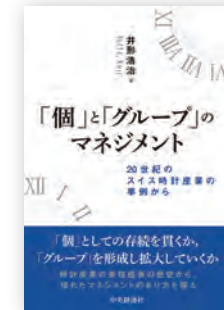
高木久史著
戦国日本の生態系
(講談社選書メチエ)



歴史って
エキサイティング！

戦国日本の歴史というと、織田信長や豊臣秀吉などの英雄が登場するイメージで溢れていますが、本書の主役は庶民。考えてみれば戦国武将の政策や戦争は、それに従ってくれる庶民の存在があってこそ成り立ちます。本書は越前国極西部(現在の福井県越前町とその周辺)の地域経済を読み解き、庶民の選択や行動こそが歴史の動因であったことを鮮やかに描き出します。著者の高木教授(経済学部)は刊行に際して「地域に伝わる古文書に記された情報ひとつひとつを丹念に拾い上げていくことで、歴史を復元していくことのエキサイティングさを知っていただきたい」と語りました。歴史好きなら好奇心が刺激されること間違いなしの一冊です。

“ 本学教員著
2023年
に刊行された
書籍 ”



「個」と「グループ」の
マネジメント
20世紀のスイス時計
産業の事例から

井形 浩治 著
(中央経済社)



自律創造型
コントロールの
理論と実践

浅田 拓史 著
(中央経済社)



日本海軍と
近代社会

兒玉 州平 編著
(吉川弘文館)

Book list

本学
教員著作
・監修



大人気絵本シリーズ×
オノマトペ体操！

かしわらあきお著、若吉浩二監修
しましまぐるぐるたいそう
(Gakken)



親子でたのしめる
体操です

累計310万部突破の「しましまぐるぐる」シリーズの最新刊は、若吉教授(人間科学部)が監修した「体操」がテーマです。脳が著しく発達する幼児期のお子さまを対象に、親子で楽しめる運動遊びが満載。「スポーツの芽」を育むのに必要なバランス、リズム、タイミングを身に付けるため、幼児が言葉を学び・使い始めるオノマトペと組み合わせた運動プログラムで構成されています。特典動画には、たいそうのよしお兄さんが出演！おなじみのカラフルなイラストと新キャラクター「しまぐる」も目を引きま。元五輪選手でオノマトペ体操を提唱する若吉教授は「これからもスポーツでひと・まちを元気にすることを目指します」と語りました。



いまから始める
地方自治

柏原 誠
桑原 武志 共著
(法律文化社)



公認心理師の基本を学ぶ
テキスト⑩
心理的アセスメント

坂野 剛崇 共著
(ミネルヴァ書房)



クィアの民俗学
LGBTの日常を見つめる

辻 晶子 共著
(実生社)



民法・商法からはじめる
ビジネス法入門

池島 真策
橋谷 聡一 共著
(税務経理協会)

Books published in 2023

ビブリオバトルとは？



ビブリオバトルは、誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲーム。発表参加者が読んで面白かった本を持ち寄り、順番に1人5分間で本を紹介し、参加者全員でのディスカッションを経て、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準に投票。最多票を集めた本がチャンプ本となります。全国の公共図書館や大学で実施されており、本学では2011年秋に第1回ビブリオバトルを開催、それ以降毎年2回行われ、2023年10月で25回目の開催となりました。また、11月には全国大学ビブリオバトル2023ブロック決戦の会場になり、本学からは2名のバトルヤーが出場しました。

全国大学ビブリオバトル2023 関西Cブロック決戦出場
大経大生のビブリオバトルヤーにその魅力を聞きました



自分が今まで読まなかったジャンルの本に出会えることがビブリオバトルの魅力！

◀ 中谷省太さん(経済学部4年)

バトルヤーの紹介によってさまざまな本に興味を沸くようになり、お気に入り作家が増えました。また、プレゼンテーションの方法も個性豊か。印象に残るバトルヤーを参考にすることで、自身のプレゼン能力向上につながったと思います。今回バトルヤーとして私が紹介したのは、オリバー・パークマン著『限りある時間の使い方』という本です。人生という限りある時間を意識し、“今”にフォーカスすることの重要性に気付かされました。今後の目標は、一冊でも多くの本を読了し、本をあまり読まない人に本の楽しさを伝えることです！

オリバー・パークマン著



(かんき出版)

「限りある時間の使い方」

((pick up!))

本学図書館では
ビブリオバトル
を開催しています

つながる

#04

大経大ファミリー

今回は堀田治税理士事務所所長堀田治さん(48回)と、ご子息堀田裕介さん(大学院88回)の税理士親子にご登場いただきます。治さんは現在税理士大樟会会長で大樟会監事をお務めです。



大阪府北区の堀田治税理士事務所にて

堀田 裕介さん

2022年・経営学研究科修了
堀田治税理士事務所勤務

堀田 治さん(48回)

1982年・経済学部卒
堀田治税理士事務所 所長

堀田治税理士事務所

<http://www.amanoace.gr.jp>

お二人の経歴

治さんは長浜市のお生まれで、滋賀県立長浜北高等学校のご出身です。「高校時代はサッカー部に所属していました。大学の四年間は梅田のホテルでのアルバイトに打ち込みました」。卒業後は真剣にホテルマンを目指しておられました。

一方裕介さんは東淀川区(上新庄)のお生まれで、大阪府立北野高等学校のご出身です。「高校時代は生徒会活動に組み、生徒会長も務めました。大学は早稲田大学国際教養学部に進みました」。卒業後は大手証券会社に就職されました。

税理士を志すきっかけ

お二人の共通点は、大学時代に税理士を全く目指していませんでした。治さんの叔父さんは税理士で、卒業時にホテルマンを目指す彼をかなり強引に自分の税理士事務所に招かれたそうです。実は、本学に入学されたのも叔父さんが大学近くに住まっていたからでした。「経済学部のため簿記は履修しなかったの、簿記3級からの挑戦となりました」。

バブルが始まり仕事が忙しくなったため資格取得には10年かかったそうです。「当時の税理士試験は本学で行われていたので、厳しく辛い時期に少し救われました」と笑われました。

裕介さんは大学卒業後証券マンとして7年間活躍されました。そんな中でプロとして自信を持って投資信託などを薦めた時「うちの税理士先生に相談します」とよく言われたそうです。最初は、自分の方が詳しいのにどうして税理士に相談するのかと思われましたが「そこに顧客との深い信頼関係があることに気付かれました。そして税理士の仕事に興味を持つようになり、自分もその立場に立ってみたいと思いました」。同時に父親の凄さにも気付きました。6年前に証券会社を退職されて治さんの事務所に入所されました。全く相談せずに決められたので、大変驚かれたそうです。

大学院での学び

税理士試験は5科目の合格が必要ですが、大学院で学び修士論文が国税庁の国税審議会に認定されると2科目が免除されます。本学の大学院を選ばれた理由をお聞きすると、「厳しい指導をされるため国税庁からの信頼が厚いからです」とのこと。本学の北浜大学院が税理士を目指す方から高く評価されていることを初めて知りました。夕方からの授業で、

アクセスが良いのも理由ですが「何と言っても父の母校であることが決め手でした」との言葉には、治さんも私も笑顔がこぼれてしまいました。最後に就職時の不思議なエピソードをお聞きました。「初任地は東京の大森支店で男性の新人は2人、何ともしや1人は大経大出身者でした」。因みに、本学よりその証券会社に就職したのは1人だけでした。

(聞き手…広報部部长・田中伸治)

「澱江59号」をもうすぐお届けします。今号も楽しい話題満載です。

昨年の12月2日、本学の卒業生で煎茶道二條流お家元の二條雅瑛氏(58回)を招いて煎茶と和の作法体験教室を開催しました。「澱江」ZOOM UP KEIDAIJINの取材時に「母校からの要請があればぜひ協力したい」とのお言葉をいただいたと大樟会、角庵事務局長にお伝えすると、すぐに山下前総務部長にお声がけいただき後援会との共催の運びとなりました。

大樟会広報部では「つながる力。」は「ご縁」のことだと認識しています。実は二條お家元を最初に紹介いただいたのは黒正現総務部長のお母様です。二條流を長く学ばれているお母様からお父様を通じて「お家元に大経大の卒業生が就任された」とお教えいただきました。そして、その「ご縁」が今回の教室につながりました。当日の床の間には生花ではなく「盛物(もりもの)」と呼ばれる根付きの水仙、蘭、百合根が並んでいました。とても深い

意味があることをお家元に教えていただきました。「澱江59号」では、その深い意味や教室の内容を詳しくお伝えします。

この教室を開催するにあたって、大学総務部の棟近さん、神崎さんには大変お世話になりました。「留学生の皆さんが一番喜んでおられました。このような素晴らしい教室は今後もぜひ継続したいです」と笑顔で話されました。



お願い -住所等を変更された場合は必ずご連絡ください-

大樟会事務局

☎ 06-6990-3664

✉ okusu@osaka-ue-denke.com

QRコードからもアクセスできます▶
<https://www.osaka-ue-denke.com/change/>

大阪経済大学 大樟会 住所変更

検索



SOUHATSU news & topics



【プロモーション動画】落語×ブレイキン篇



【プロモーション動画】茶道×ブレイキン篇

国際共創学部

国際共創学部2024年4月開設！

学部理念

グローバルな視点で社会や経済を見据え、
多文化への理解にもとづき、人々と未来を共に創り出す

国内外の地域が抱える社会・経済課題を解決するためには「多面的な見方・考え方」を備え、「多様な解」を生み出すグローバル人材が求められています。

2024年4月に開設する「国際共創学部」は「社会・文化」「経済・経営」分野の知識と、新しい情報や知見を収集・調査・分析する

技術を学びの基盤としています。そのうえでグローバルな視点とローカルな視点を合わせ持ち、本質的な課題を発見し(洞察力)、多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組みながら(共感力)、解決に向けて立案し(構想力)、主体的に行動できる(実践力)グローバル人材を輩出していきます。

特設サイトではコラムを更新中！

国際共創学部の特設サイトではコラムを更新中です。CM出演者のインタビューや、新科目「ローカル・リサーチ」のフィールドワーク先に関する情報など、同学部での学びに期待が膨らむ内容をお届けしています。ぜひご覧ください。



詳細はこちらをご覧ください

国際共創学部 特設サイト
<https://www.osaka-ue.ac.jp/newfaculty/>



大阪経済大学 国際共創学部

検索

国際共創学部プロモーション

これまでの常識を超えて、これからの常識を創り出す「国際共創学部」をPRするため、『ありえない、を超えよう。』をコンセプトに、CMを制作・放映しました。

キャストは、大阪府出身でブレイキンの第一人者である、Shigekix選手に出演を依頼しました。CMは、Shigekix選手が、着物姿で演芸場の高座に登場し、落語を披露するかと思いきや華麗なブレイクダンスを披露する「落語×ブレイキン」篇、茶室でお点前を出された Shigekix選手がブレイクダンスを踊りだす「茶道×ブレイキン」篇の2篇です。

大阪出身のラッパー集団・梅田サイファーが書下ろした“異なる文化、異なる価値、掛け合わせる事が発想の鍵、ナンもアリにする創造の旅〜”という力強いラップにのせて、“ありえないを超えた”映像が完成しました。



阪急大阪梅田駅構内(2023年9月11日～2024年3月末予定)



伏見稲荷神社(2023年12月31日～2024年1月5日)

放映期間

2023年 2024年
9月11日(月)～1月31日(水)

放映地域

TVCM 関西・岡山・香川・広島・愛媛・高知・鳥取・島根
WebCM YouTube、TVer、X(旧Twitter)、Instagram
屋外広告 ツタヤエビスパシビジョン、梅田dipビジョン
※屋外広告は2023年9月18日まで

学内行事

第2回データサイエンスコンペ開催

データサイエンスコンペは、データから必要な情報を取り出し、分析によって社会問題の要因を示し、課題解決に向けた提案を競う場です。新しいことに挑戦する学生を応援したい、データサイエンスを実践の中で身につけてほしいと様々な分野の教員や職員が運営に携わっています。

第2回は、学生5チームがエントリーし、学内外の審査員の前で発表しました。最優秀賞は、中学生の不登校増加に着目し、どうすれば不登校を減少させることができるのかを示した「45組」チームが受賞。そして、学生実行委員が選ぶバックステージ賞は、日本の人口減少に注目し、出生率を引き上げるための提案を行った「GZ(増税、減税)」チームが受賞しました。



出場チーム(発表順)	研究テーマ
①正直者のジョン	満員電車と労働生産性
②Analysis of Cashless with Statistics	最低賃金の引き上げが労働市場に与える影響
③GZ(増税・減税)	出生率を上げるためには
④微男美女	ヒートNOアイランド現象
⑤45組	中学生の不登校減少に向けて



クラブ活動

ラクロス部(男子) 創部以来初の1部昇格!

2023年11月11日(土)に開催された関西学生ラクロスリーグの入替戦に、ラクロス部(男子)が2部3位で出場し、1部5位の立命館大学を3-7で制し、1部昇格を決めました。1部昇格は1991年の創部以来初の快挙となります。

主将の黒川航輝さん(人間科学部4年)は「5月の練習試合で1部リーグのチームに勝てたことで、1部昇格という目標が実現可能だと思えるようになったことが大きかった」と今期を振り返り、1部昇格については「大経大男子ラクロス部の歴史を変えることができて嬉しい。後輩たちには新たな歴史を作っていく気持ちで、1部リーグ上位を目指してほしい」と喜びを語りました。



クラブ活動

地域創生サークル

地方創生サークルが岡山県西粟倉村で開催した「もち麦料理コンテスト」の優勝メニューをアレンジした期間限定メニュー「岡山県美作市産もち麦健康カレー」が11月13日(月)～11月17日(金)の間、学生食堂で提供されました。

「もち麦料理コンテスト」は地元の小学生と高校生を巻き込んだプロジェクト。優勝したメニュー「あまごのキーマカレー」を学食を運営する大阪経済大学生協と何度も協議を重ねてアレンジし「岡山県美作市産もち麦健康カレー」として1皿500円で提供しました。



クラブ活動

硬式野球部 津田淳哉さん 阪神タイガースに入団

2023年プロ野球ドラフト会議にて、硬式野球部の津田淳哉さん(経済学部4年)が阪神タイガースから6位指名を受けました。津田さんは図書館ラーニング・commonsで高代延博監督、藤原忠毅部長と記者会見に臨み「阪神といえば津田と言われるような選手になりたい」と抱負を語りました。



学内行事

メタバース×大阪経済大学×福祉事業所 情報社会学部メタバース・プロジェクトを展開

情報社会学部は、情報技術と社会科学を融合させた学びを目指す産学連携の取り組みとしてメタバース・プロジェクトを実施。2021年から開始した福祉事業所の手作り製品を販売する「くすのきエール・マルシェ」を基礎に、メタバース空間で「メタ・マルシェ2023」を展開しました。10月6日(金)～11月30日(木)の期間中、メタバースだからこそできる幅広い商品ラインナップと今までの福祉事業所のイメージを覆すような素晴らしい品質の商品を販売。また大樟祭の開催期間中(10/27～20)には、メタバースの店舗とリアル店舗と連動させるなど「メタ・マルシェ 2023」上で様々なイベントを行いました。



連携事業

大阪経済大学×日本建設工業 人間科学部 弦間ゼミCM企画に挑戦 TVCMが放映されました

弦間ゼミでは、2022年度春学期に取り組んだ採用広報PBLがきっかけで、日本建設工業様からCM企画の依頼を受け、秋学期以降3年生8名が企画制作に取り組みしました。依頼内容は「新卒採用の支援・促進を目的に、学生世代にあまり知られていない日本建設工業の事業内容を魅力的に伝えるテレビCM」。ヒアリングや事業内容の調査から訴求ポイントを設定し、15秒CMのアイデアを出し、日本建設工業様の社員によるフィードバックを受けながら、複数回の提案を重ねた結果、CM企画が採用されました。制作されたCMは2023年度秋にTVCMとして放送され、現在はYouTubeで公開されています。

※弦間ゼミは2024年度より情報社会学部で開講

大阪経済大学×大阪府交野市 包括連携協定 締結式実施

本学は大阪府交野市と連携協力に関する包括協定を締結しました。2023年7月31日(月)に調印式を開催。本協定は、本学と交野市が地域の課題解決・活性化、人材育成を図るとともに、地域社会の発展と大学教育・研究に寄与していくことを目的としています。調印式同日から本協定に基づいて交野市の地域スポーツ拠点づくりに向けたパイロットプログラムに本学人間科学部の田島ゼミが参画しました。

連携事業

大阪経済大学×大阪府交野市 人間科学部 田島ゼミ 夏休みの子ども向け プログラム運営

2023年に締結した大阪府交野市との「連携協力に関する包括協定」に基づき、総合型地域スポーツクラブ設立に向けた事前イベントを開催しました。学童保育に通う子どもたち約50名を対象とした「夏休みの宿題&水泳教室」として、朝9時から夕方5時まで平日の5日間のプログラムを実施。プログラムの内容は学生らがいちから企画し、交野市の担当者と相談しながら進め、現場でも確認するなど入念に準備を進めました。最終日には運営に参加した学生全員が子どもたちからサインを求められたり、絵や手紙をもらったそうで、子どもたちにとっても満足度の高いプログラムになったようです。

連携協定



気づいたらまずはチェック! 忘れ物・落とし物管理サイト運用スタート

2023年11月から学内での忘れ物・落とし物について、伝言フォームと管理サイトの運用を開始しました。

学内で忘れ物・落とし物を見つけた場合



学生課窓口(J館1階)に届けてください。

学内で物を紛失した場合



学生課に届けられ、3ヶ月保管されます。



紛失に気づいたら…

- ☑ スマホや財布等の貴重品は、**学生証を持参のうえ**学生課に行きましょう。
- ☑ 貴重品以外については、まず「**忘れ物・落とし物管理サイト**」にアクセスして、自身が紛失したものがないか事前に確認してみましょう。
- ☑ 「伝言フォーム」からご自身の忘れ物・落とし物情報を入力すれば、**入力内容に近いものが届き次第、学生課からご連絡**します。

「忘れ物・落とし物管理サイト」について

- ☑ 落とし物が届いてから**管理サイトに反映するまでに時間がかかる**ことがあります。
- ☑ 管理サイトに自身が落とした物が掲載されている場合は、窓口開室時間中に学生証を持参し、必ず本人が返却の手続きをしてください。**代理での返却手続きはできません。**

証明書コンビニ発行サービス導入&手数料変更

2023年10月2日から「証明書コンビニ発行サービス」を導入しました。

大学が発行する各種証明書をWEBで申し込みを行い、従来の学内発行機(一部郵送)に加え、全国のコンビニエンスストアでも取得できるサービスです。また、当サービスの導入により証明書の手数料が改定されました。ご利用方法は大学公式ホームページをご確認ください。また、証明書に記載される氏名は「在籍時の氏名」となります。当サービス導入後は、離籍後の改正名手続きは行いませんので、ご注意ください。



2023年度 卒業式・学位授与式のご案内

日時

2024年3月16日(土)

〈午前の部〉10:00～ 〈午後の部〉13:00～

午前の部

経済学部・人間科学部・経済学研究科・人間科学研究科

午後の部

経営学部・情報社会学部・経営学研究科・経営情報研究科

会場

70周年記念館(A館)
フレアホール

- ・式典は対面開催とし、保護者の参列・入場制限も設けませんが、自然災害等によりプログラムを変更する場合がございます。
- ・当日はYouTubeにてWEB中継を実施し、3月末日を目途にアーカイブを残す予定です。